

ポイント

◆◆特集◆◆

★国道357号東京港トンネル東行きの開通について★

(国土交通省 関東地方整備局 川崎国道事務所)

国道357号東京湾岸道路は、東京湾に面する各都市を結び、都市内の交通を臨海部へ転換させ、地域の交通を円滑にするほか、空港や港湾などの物流拠点を効率的に結ぶ役割を担っています。

令和元年6月3日に、東京湾を横断して台場と羽田空港を結ぶ、国道357号東京港トンネル東行きが開通したことから、その整備の概要などについて報告します。

◆◆訴訟事例紹介◆◆

★道路の轍掘れによってアスファルトの路面が隆起し、
車両の地上高が一般の乗用車と比較して低い外国製の乗用車が損傷した事故について、
道路の管理の瑕疵等が争われた事例★

(平成29年11月9日福岡地方裁判所第3民事部判決)

(国土交通省 道路局 道路交通管理課)

【事案の概要】

本件は、原告代表者が車両を運転中、信号待ちのため徐行したところ、道路の轍掘れによって発生したアスファルトの路面が隆起した部分に車両の底部が接触、損傷したとして、道路管理者に対し国家賠償法2条1項に基づく損害賠償請求がなされたものである。

【判決要旨（原告の一部勝訴）】

争点1 管理瑕疵の有無については、本件道路の管理に瑕疵があったと認められる。

争点2 過失相殺の可否については、過失相殺はしない。

争点3 損害額については、

その一部について認める（原告の請求額755万1581円に対し、

36万3760円の損害が認められた）。

◆◆TOPICS◆◆

★「三宮クロススクエア」の実現に向けた交通社会実験★

(神戸市 都心再整備本部 都心三宮再整備課)

神戸の玄関口である三宮の6つの駅と周辺のまちを一体的につなぎ、交通拠点としての機能や回遊性を高める空間「えきまち空間」の核として、人と公共交通優先の空間「三宮クロススクエア」を段階的に整備していきます。この第一歩として実施した、整備の第一段階を再現した交通社会実験の結果を報告します。

◆◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◆

★訪日外国人レンタカーへのピンポイント事故対策について★

(内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課)

沖縄県では、入域観光客の増加に伴い、外国人観光客も増加し、日本の交通ルールに不慣れな外国人レンタカー利用者の事故が急増している。外国人レンタカーの事故件数が年々増加傾向であるが、その一方で、その危険箇所は定量的に把握出来ていないのが現状である。そこで、「安全」に係る外国人レンタカーの安全性の向上に着目し、ETC2.0 プローブデータを用い、外国人特有の事故危険箇所を特定した。本稿では、特定した事故危険箇所への、ピンポイント事故対策の検討・立案のほか、対策の効果検証結果と今後の取組み内容について報告する。

.....

★おもてなしグリーンプロジェクトについて★

(熊本県 土木部 道路保全課)

熊本県では、平成 27 年から 28 年に、「熊本益城大津線（第二空港線）の街路樹に関する検討会議」を実施し、「熊本益城大津線（第二空港線）街路樹管理に関する見直し改善方針」を策定しました。本稿では、当該検討会議の提言概要とともに、策定した改善方針等に沿った沿道景観等の改良復旧を推進している「おもてなしグリーンプロジェクト」について紹介します。

.....

★人吉球磨スマートインターチェンジの開通と道の駅「人吉」開駅について★

(人吉市 建設部 都市計画課)

人吉球磨の 10 市町村が一体となって事業を進め、令和元年 8 月 10 日に無事開通を迎えた人吉球磨スマート IC の概要と、人吉市が事業主体となって進め、同日に開駅した道の駅「人吉」に関してご紹介します。

◆◆編集後記◆◆

4年に一度じゃない。一生に一度だ。

これは、今年20日に開幕したラグビーワールドカップ2019日本大会のキャッチコピーです。電車のつり革広告で目にした時、観戦に行かなくては…と、心が動かされました。ラグビーについては、数十年前にテレビドラマで得た程度の知識しか持ち合わせていませんでしたが、雑誌やテレビなどで特集が組まれることも多くなり、もっと知りたいという気持ちが湧いてきました。

そこで、ラグビー観戦を楽しむため、経験者よりルールを教えてくださいにしました。ラグビーは、敵の陣地の奥（ゴールラインの向こう）にボールを持って運んで得点を競うスポーツで、15人对15人で対戦します。前後半40分ずつで試合が行われ、得点の多いチームが勝者となります。得点の種類は4種類で、①トライ（ゴールラインの向うにボールを置く。5点）、②コンバージョンキック（トライの後、ゴールポストを狙うキック。2点）、③ペナルティキック（相手が反則した時にもらえるキック。3点）、④ドロップゴール（地面に1度ボールを落としてから狙うゴール。3点）です。反則については、ボールを前に落とすノックオンと、ボールを前にパスするスローフォワードの2種類を覚えていれば十分楽しめるとのことでした。すでに行われた数試合をテレビなどで観戦し、ルールを覚えている最中ですが、鍛え上げられた大柄の選手同士が身を挺して陣地を守り、ぶつかり合ってボールを奪い、隙をついて猛スピードで敵をかかわす場面に圧倒されます。観戦初心者なのでボールを保持している選手に注目しがちですが、他の選手の動きにも目を向けると、より一層楽しめるようです。こんなに面白いスポーツだったとは。

ラグビーワールドカップ2019日本大会は、全国12都市で、約6週間（9/20～11/2）にわたって開催され、大会を目的にした訪日外国人客は最大40万人といわれています。日本の観戦者もあわせると、スタジアム周辺は大変な混雑となるため、交通規制などが行われています。また、駅から離れたスタジアムでは、数年前から渋滞対策等が検討され、道路整備や交差点の改良のほか、シャトルバスの運行やパーク&バスライドの実施といった取組みが進められています。幸運にも、私も一生に一度の体験をすることができそうなので、推奨される公共交通機関を利用し、時間に余裕を持ってスタジアムに足を運びたいと思います。開催期間中、多くの観戦者にとってストレスのない円滑な移動ができ、たくさんの感動や興奮に満ち溢れる大会でありますように。（U）